

中小製造業のアトリエ化支援

? なぜこの事業を行なっているのですか？

台東区には、靴やかばん、帽子などの地場産業（☞解説①）や伝統的産業など、長い歴史で培った技術・技法を受け継ぎ、手仕事に生きる職人さんが多くいます。

しかし、最近では安価な工業製品が普及し、職人さんの技術の高さ、手づくりの素晴らしさが、伝わりにくくなっています。

そこで、台東区では、作業の現場を見学できたり、手づくりの体験ができたりするようなアトリエ店舗（☞解説②）を作る事業者の皆さんに対し、その費用の助成などを行なっています。アトリエ店舗が区内に増えることにより、多くの方がものづくりの良さを知り、製品（商品）を買っていただくことを目指しています。

? どのようなことを行なっていますか？

主に以下の2つの支援を行なっています。

- ものづくりの様子を公開し、製品（商品）への理解を深め、販売を促進していくための店舗の改装などに対して、一部助成を行なっています。

対象経費 工房・店舗等の改装・改修費、看板等設置費など

助成率 助成対象として認められた経費の2分の1（限度額100万円）

- 地図入りでアトリエ店舗を紹介する「手作り工房マップ」を作成し、「ものづくりのまち台東」のPRを行なっています。



アトリエ店舗の様子①

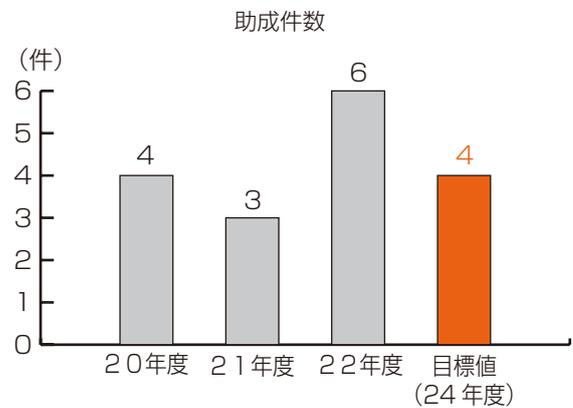


アトリエ店舗の様子②

? 事業の進み具合はどうか？

事業の始まった平成11年度から平成21年度まで、すだれや江戸伝統木彫作品、生活雑貨やアクセサリーを取り扱う店など、全部で39の店舗に助成を行なってきました。平成22年度は6の店舗に助成を行ない、目標を達成しています。

また、「手作り工房マップ（平成22年度版）」は、12,000部製作し、東京都観光センター等で配布しています。掲載店舗数は、86店舗となっており、今後も増えていく見込みです。



(資料：産業振興課)

? 今後はどのように取り組んでいくのですか？

アトリエ店舗を訪問していただくことで、どんな人が、どのように作っているのかを知っていただくことができます。このことにより、消費者の皆さんの製品（商品）への理解が深まり、購入意欲の向上につながっています。また、アトリエ店舗の見学やものづくりの体験などが観光コースに組み込まれるという例もあります。

さらに、最近では、今までにはなかったような若い人の新しいお店や、ものづくりをする人のアトリエが集まりはじめています。

区内にこのようなアトリエ店舗が増えていくことで、地域のにぎわいがさらに高まっていくことが予想されることから、区ではアトリエ化支援をはじめとした事業を充実していくことで、若いクリエイターが集まるものづくりのまちの実現を目指していきます。

■ この事業に関するお問合せは ■

文化産業観光部産業振興課

03-5246-1197

【解説】

①地場産業

一定の範囲の地域において、ある特定の業種の中小企業群からなる企業群が集中的に立地している産業のことです。

②アトリエ店舗

アトリエは、広くは「工房」という意味ですが、ここでは、一般の方が、ものづくりの様子を見学、体験ができる店舗もしくは工房のことを言います。